

眼 科 学

教 授	早 坂 征 次
助 教 授	長 木 康 典
助 教 授 (前)	門 井 千 春
講 師	松 本 真 幸
助 手	柳 沢 秀 一 郎
助 手	張 坂 学 云 子
助 手	早 坂 依 里 子
助 手	藤 樫 美 佳
助 手	遠 藤 好 美
助 手 (前)	遠 藤 眞 知 彦
技術専門職員	渡 辺 一 由 美 子
	林

◆ 著 書

- 1) 門井千春, 早坂征次: 角膜の先天・周産期異常. 「眼科学」丸尾敏夫, 本田孔士, 他編, 88-89, 文光堂, 2002.
- 2) 門井千春, 早坂征次: 水晶体の位置異常. 「眼科学」丸尾敏夫, 本田孔士, 他編, 207-208, 文光堂, 2002.
- 3) 長木康典, 早坂征次: 眼球の先天異常. 「眼科学」丸尾敏夫, 本田孔士, 他編, 567-568, 文光堂, 2002.
- 4) 山田哲也, 早坂征次: 染色体異常. 「眼科学」丸尾敏夫, 本田孔士, 他編, 1389-1403, 文光堂, 2002.
- 5) 早坂征次: 全身疾患と眼. 「眼科専門医セルフ・アセスメント」眼科専門医セルフ・アセスメント検討会編, 605-637, 文光堂, 2002.

◆ 原 著

- 1) Yanagisawa S., Hayasaka S., Zhang Xue-Yun, Hayasaka Y., and Kitagawa K.: Effect of topical betaxolol on acute rise of aqueous flare induced highly selective agonists for prostaglandin E₂ receptor subtypes in pigmented rabbits. *Ophthalmic Res.*, 34:48-50, 2002.
- 2) Zhang Xue-Yun, Hayasaka S., Hayasaka Y., Yanagisawa S., and Nagaki Y.: Effects of isopropyl unoprostone, latanoprost, and prostaglandin E₂ on acute elevation of aqueous flare in pigmented rabbits. *Ophthalmic Res.*, 34:90-193, 2002.
- 3) Hayasaka Y., Hayasaka S., Zhang Xue-Yun, and Nagaki Y.: Effects of topical antiglaucoma eyedrops on prostaglandin E₂-induced aqueous flare elevation in pigmented rabbits. *Invest*

Ophthalm. Vis. Sci., 43:1142-1145, 2002.

- 4) Hayasaka Y., Hayasaka S., Zhang Xue-Yun, and Nagaki Y.: Effects of topical anti-inflammatory and antiallergic eyedrops on prostaglandin E₂-induced aqueous flare elevation in pigmented rabbits. *Arch. Ophthalmol.*, 120:950-953, 2002.
- 5) Ikeda N., Hayasaka S., Nagaki Y., Hayasaka Y., Kadoi C., and Matsumoto M.: Effects of Kakkon-to and Sairei-to, traditional herbal medicines, on aqueous flare elevation after surgery of complicated cataract. *Am. J. Chin. Med.*, 30:347-353, 2002.
- 6) Yanagisawa S., Hayasaka S., Zhang Xue-Yun, Hayasaka Y., and Nagaki Y.: Effects of topical iganidipine on experimental elevation on aqueous flare induced by prostaglandin E₂ and EP agonists in pigmented rabbits. *Ophthalmic Res.*, 34:195-199, 2002.
- 7) Nagaki Y., Hayasaka S., Yamada T., Hayasaka Y., Sanada M., and Uonomi T.: Effects of astaxanthin on accommodation, critical flicker fusion, and pattern visual evoked potential in visual display terminal workers. *J. Trad. Med.*, 19:170-173, 2002.
- 8) Traboulsi E., Al-Khayer K., Matsumoto M., Kimak M., Crowe S., Wilson S., Finegold D., Ferrell R., and Meisler D.: Lymphedema-distichiasis syndrome and *FOXC2* gene mutation. *Am. J. Ophthalmol.*, 134:592-596, 2002.

◆ 症 例

- 1) Yanagisawa S., Hayasaka S., Matsumoto M., Kadoi C., Nagaki Y., and Hayasaka Y.: Ocular toxoplasmosis in Brazilians living in Japan. *Ann. Ophthalmol.*, 34:54-57, 2002.
- 2) Nagaki Y., Hayasaka S., Sato S., Kadoi C., Matsumoto M., and Hayasaka Y.: Recurrent endophthalmitis after Nd: YAG laser capsulotomy. *Ann. Ophthalmol.*, 34:58-60, 2002.
- 3) Sugawara E., Hayasaka S., Abe T., Kadoi C., Matsumoto M., and Nagaki Y.: Acute angle-closure glaucoma in a 54-year-old man with persistent hyperplastic primary vitreous. *Ann. Ophthalmol.*, 34:61-63, 2002.
- 4) Yamada T., Hayasaka S., Nagaki Y., Hayasaka Y., Kadoi C., and Matsumoto M.: Retinal dystrophy in a Japanese boy harbor-

ing the mitochondrial DNA T8993G mutation. Jpn. J. Ophthalmol., 46:460-462, 2001.

- 5) Saeki A., Hayasaka S., Sato S., Kadoi S., Matsumoto M., Nagaki Y., and Hayasaka Y.: White spots in right fundus and exudative retinal detachment in other eye in a man receiving hemodialysis. Ann. Ophthalmol., 34:230-233, 2002.
- 6) Endo M., Hayasaka S., Yanagisawa S., Nagaki Y., Matsumoto M., and Hayasaka Y.: CHARGE association in a 19-year-old woman. Ann. Ophthalmol., 34:234-237, 2002.
- 7) 北川清隆, 早坂征次: Ice pack testが診断に有用であった重症筋無力症による眼瞼下垂の1例. 眼科臨床医報 96:21-22, 2002.

◆ 総 説

- 1) 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 早坂依里子: 血液房水柵破綻と薬物. 眼薬理 16:11-13, 2002.
- 2) 長木康典, 早坂征次: 糖尿病キャンペーンおよび漢方薬治療. 臨床眼科 56:1375-1376, 2002.
- 3) 長木康典, 早坂征次: 白内障術式と切開部位に於ける眼内炎発生頻度. IOL&RS 16:153-157, 2002.
- 4) 早坂依里子: インターフェロン網膜症. 臨床眼科 56:663-667, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 早坂征次: 血液房水柵破綻と漢方薬(特別講演). 第6回東海漢方研究会, 2002. 1, 名古屋.
- 2) 長木康典, 早坂征次, 門井千春, 池田成子, 佐藤昭一, 片岡康志: 小切開白内障術後の細菌性眼内炎—眼内レンズの種類と切開部位での違い—. 第25回日本手術学会, 2002. 1, 広島.
- 3) 山田哲也, 早坂征次, 松本真幸, Budu, Tenri Esa, 早坂依里子, 遠藤真知, 長木康典, 藤木慶子, 金井 淳: OPA1遺伝子変異がみられた両眼性視神経萎縮の1例. 第33回福井県眼科集談会, 2002. 2, 福井.
- 4) 遠藤真知, 早坂征次, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子: 再発性硝子体出血が見られた乳頭上ループ形成症の若年例. 第33回福井眼科集談会, 2002. 2, 福井.
- 5) 遠藤真知, 早坂征次, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子: 再発性硝子体出血が見られた乳頭上ループ形成症の若年例. 第77回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2002. 2, 富山.
- 6) 山田哲也, 早坂征次, 松本真幸, 早坂依里子: OPA1遺伝子変異がみられた両眼性視神経萎縮1例. 第77回富山医薬大眼科臨床カンファレンス,

2002. 2, 富山.

- 7) 長木康典, 早坂征次, 早坂依里子, 矢野宏樹: 富山医科薬科大学眼科を初診した糖尿病患者の網膜症と光凝固—1994年度と2001年度の比較—. 第77回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2002. 2, 富山.
- 8) 長木康典, 早坂征次, 早坂依里子, 矢野宏樹: 富山医科薬科大学眼科を初診した糖尿病患者の網膜症と光凝固—1994年度と2001年度の比較—. 第8回富山内眼糖研究会, 2002. 3, 富山.
- 9) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典: 網膜綿花様白斑がみられた睡眠時無呼吸症候群の1例. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 10) 池田成子, 早坂征次, 長木康典, 野本浩生: 4歳女兒の睫毛と頭髮に寄生したケジラミ症の1例. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 11) 遠藤好美, 早坂征次, 長木康典, 本郷和久: 抗てんかん薬ビガバドリンによる両眼性視野狭窄の1例. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 12) 門井千春, 長木康典, 早坂征次: 片眼性の網膜血管閉塞がみられた神経線維腫症の1例. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 13) 中村伸男, 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子, 寺澤捷年: ヒト網膜色素上皮細胞でのIL-6とIL-8のmRNAと蛋白質の発現に及ぼすwogoninの影響(漢方薬中の或る成分は転写レベルでサイトカインを調整する). 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 14) 早坂依里子, 早坂征次, 張 学云, 長木康典: 有色家兎の実験的前房フレア上昇に対する抗アレルギー薬点眼の効果. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 15) 山田哲也, 早坂征次, 松本真幸, Budu, Tenri Esa, 早坂依里子, 遠藤真知, 長木康典, 藤木慶子, 金井 淳: 両眼性視神経萎縮症例にみられたOPA1遺伝子の変異. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 16) 長木康典, 早坂征次, 早坂依里子: 富山医科薬科大学眼科を初診した糖尿病患者の網膜症と光凝固 そのⅢ. 第46回富山眼科集談会, 2002. 5, 富山.
- 17) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 長木康典, 北川清隆: 家兎でのプロスタグランジンE₂受容体(EP)作動薬惹起前房フレア値の上昇に及ぼすイガニジピンの効果. 第106回日本眼科学会総会, 2002. 5, 仙台.
- 18) 早坂依里子, 早坂征次, 張 学云, 長木康典:

- 有色家兎の実験的前房フレア上昇に対する抗炎症薬および抗アレルギー薬点眼の効果. 第106回日本眼科学会総会, 2002.5, 仙台.
- 19) 長木康典, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 中村伸男, 寺澤捷年: 有色家兎眼での実験的前房内フレア上昇に対する漢方薬・生薬の点眼による抑制効果. 第106回日本眼科学会総会, 2002. 5, 仙台.
- 20) 三原美晴, 早坂征次, 柳沢秀一郎, 長木康典, 松本真幸: 黄斑部に渦静脈がみられた高度近視眼における裂孔原性網膜剥離. 第78回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2002. 8, 富山.
- 21) 三上武則, 早坂征次, 柳沢秀一郎, 長木康典, 早坂依里子, 本郷和久: 瞳孔散大と視神経乳頭拡大を伴ったAicardi症候群の1例. 第78回富山医薬大眼科臨床カンファレンス, 2002. 8, 富山.
- 22) 張 学云, 早坂征次, 早坂依里子, 長木康典: 有色家兎でのLPS惹起前房内フレア上昇に対するSN50ペプチド(NF- κ B抑制剤)の抑制効果. 第22回日本眼薬理学会, 2002. 9, 東京.
- 23) 中村伸男, 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子: ヒト網膜色素上皮細胞におけるIL-6とIL-8の発現とbaicalein(漢方由来のフラボノイド)による抑制効果. 第22回日本眼薬理学会, 2002. 9, 東京.
- 24) 北川清隆, 早坂征次, 清水勝利, 長木康典: Onodi蜂巢に生じた粘液嚢腫による圧迫性視神経症の1例. 第35回福井県眼科集談会, 2002. 9, 福井.
- 25) 柚木達也, 早坂征次, 長木康典, 藤樫美佳: N-butyl-cyanoacrylateと保存強膜を用いて角膜移植を行った角膜穿孔の1例. 第35回福井県眼科集談会, 2002. 9, 福井.
- 26) 三浦光生, 早坂征次, 早坂依里子, 長木康典, 山田哲也: 53歳で視力良好なコロイデミアの1例. 第35回福井県眼科集談会, 2002. 9, 福井.
- 27) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典: 角膜厚が厚いために高眼圧を呈したと思われた太田母斑の1例. 第13回日本緑内障学会, 2002. 9, 横浜.
- 28) 渡辺このみ, 岩佐芳夫, 早坂征次: ラタノプロスト点眼後嚢胞様黄斑浮腫を生じた1例. 第13回日本緑内障学会, 2002. 9, 横浜.
- 29) 柳沢秀一郎, 早坂征次, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子: グルコン酸クロルヘキシジン20%による角結膜損傷の1例. 第56回日本臨床眼科学会, 2002. 9, 盛岡.
- 30) 門井千春, 長木康典, 早坂征次: 片眼性の網膜血管閉塞がみられた神経線維腫症の1例. 第56回日本臨床眼科学会, 2002. 9, 盛岡.
- 31) 長木康典, 早坂征次, 早坂依里子: 富山医薬大眼科を初診した糖尿病患者の網膜症と光凝固: 糖尿病キャンペーン前後の比較. 第56回日本臨床眼科学会, 2002. 9, 盛岡.
- 32) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典: 綿花様白斑がみられた睡眠時無呼吸症候群の1例. 第56回日本臨床眼科学会, 2002. 9, 盛岡.
- 33) 山田哲也, 早坂征次, 松本真幸, 早坂依里子, 遠藤真知, 長木康典, 藤木慶子, 金井 淳: 両眼性視神経萎縮患者のOPA1遺伝子解析. 第56回日本臨床眼科学会, 2002. 9, 盛岡.
- 34) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典: 角膜厚が厚いために高眼圧を呈したと思われた太田母斑の1例. 第22回金沢医科大学眼科研究会, 2002. 10, 金沢.
- 35) 中村伸男, 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子, 寺澤捷年: ヒト網膜色素上皮細胞でのIL-1 β 誘発によるIL-6とIL-8の発現に及ぼすwogonin(漢方薬由来のフラボノイド)の抑制効果. 第22回金沢医科大学眼科研究会, 2002. 10, 金沢.
- 36) 北川清隆, 早坂征次, 清水勝利, 長木康典: Onodi蜂巢に生じた粘液嚢腫による圧迫性視神経症の1例. 第68回日本中部眼科学会, 2002. 11, 大阪.
- 37) 池田成子, 早坂征次, 長木康典, 野本浩生: 歳女兒の睫毛と頭髮に寄生したケジラミ症の1例. 第68回日本中部眼科学会, 2002. 11, 大阪.
- 38) 中村伸男, 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子, 寺澤捷年: Effects of Baicalin, Baicalein, and Wogonin (Plant Flavonoids) on IL-6 and IL-8 Protein Production, mRNA Expression, and Nuclear Factor- κ B Activation Induced by IL-1 β in Human Retinal Pigment Epithelial Cell Line. 中日医学大会, 2002. 11, 北京, 中国.
- 39) 長木康典, 早坂征次, 張 学云, 早坂依里子, 中村伸男, 寺澤捷年: Effects of topical instillation of traditional herbal medicines on prostaglandin E₂-induced aqueous flare elevation in pigmented rabbits. 中日医学大会, 2002. 11, 北京, 中国.
- 40) 三上武則, 早坂征次, 長木康典, 柳沢秀一郎, 松本真幸, 二谷 武: 角膜穿孔を伴った前部ぶどう腫の1例. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.
- 41) 三原美晴, 早坂征次, 松本真幸, 長木康典, 早坂依里子: 偽乳頭炎の症例にみられたぶどう膜炎

による乳頭浮腫. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

42) 柳沢秀一郎, 長木康典, 早坂征次: α -グルコシダーゼ阻害剤を内服中の糖尿病患者にみられた眼内炎の1例. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

43) 長木康典, 早坂征次, 中村伸男, 早坂依里子: 上方裂孔原性網膜剥離に色素性境界線がみられた1例. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

44) 張 学云, 早坂征次, 早坂依里子, 長木康典: 有色家兎でのLPS惹起前房内フレア上昇に対するSN50ペプチド(NF- κ B抑制剤)の抑制効果. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

45) 中村伸男, 早坂征次, 張 学云, 長木康典, 松本真幸, 早坂依里子, 寺澤捷年: ヒト網膜色素上皮細胞におけるIL-6とIL-8の発現に及ぼすbaicalein(漢方薬由来のフラボノイド)による抑制効果. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

46) 北川清隆, 早坂征次, 長木康典: 液状後発白内障の前房フレア値. 第47回富山眼科集談会, 2002. 12, 富山.

47) 早坂征次: 薬物と虫による眼病変(特別講演). 第125回和歌山眼科学会, 2002. 12, 和歌山.

48) 長木康典, 早坂征次: 白内障術後眼内炎の発生頻度. ジャムコンセミナー2002, 2002. 12, 福岡.

耳 鼻 咽 喉 科 学

教 授	渡 辺 行 雄
助 教 授	麻 生 伸 肇
助 教 授	中 川 肇
	(学内併任・医療情報部)
講 師	將 積 日出夫
講 師	浅 井 正 嗣
助 手	安 村 佐都紀
助 手	木 村 寛
助 手	本 島 ひとみ
助 手	十二町 真樹子
助 手	高 倉 大 匡
助 手(前)	伏 木 宏 彰
前任技術官	武 田 精 一

◆ 著 書

- 1) 渡辺行雄: めまい. 「耳鼻咽喉科診療プラクティス9, 小児の耳鼻咽喉科診療」川城信子編, 63-66, 文光堂, 東京, 2002.
- 2) 渡辺行雄: 小児声門下狭窄-癒痕性狭窄に対するレーザー治療の効果と限界-. 「耳鼻咽喉科診療プラクティス10, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の小児のレーザー治療」池田勝久 他編, 91, 文光堂, 東京, 2002.

◆ 原 著

- 1) Yasuda K, Fushiki H, Wada R, Watanabe Y: Spatial orientation of postrotatory nystagmus during static roll tilt in cats. *J Vestib Res* 12, 15-23, 2002.
- 2) Barmack NH, Errico P, Ferraresi A, Fushiki H, Pettorossi VE, Yakhnitsa V: Cerebellar nodulectomy impairs spatial memory of vestibular and optokinetic stimulation in rabbits. *J. Neurophysiol* 87(2002), 962-975.
- 3) Satsuki Yasumura, Shin Aso, Michirou Fujisaka, Yukio Watanabe: Cochlear implantation in a patient with Mitochondrial encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes (MELAS) syndrome - a case report. *Cochlear implants -An update*, 511-513, Kugler Publications, The Hague, The Netherlands, 2002.
- 4) 麻生 伸, 木村 寛, 十二町真樹子, 山本森弘, 藤坂実千郎, 武田精一, 渡辺行雄: メニエール病へ移行した急性低音障害型感音難聴の特徴. *Audiology Japan* 45:155-160, 2002.